

降誕前節第9主日・(緑)

主日礼拝

2025年10月26日 10時20分～

司式:

奏楽:

《神の招き》

前	奏	『神はわがとりで』 J. パッヒエルベル
招	詞	イザヤ書17章7節
賛	美 歌	224

《神の言葉》

祈	祷	聖霊の照らしを求める祈り	
聖	書	創世記2章15～25節	(旧約 2頁)
		ヨハネの黙示録4章1～11節	(新約444頁)

子ども説教		
交読詩編	詩編19編1～7節	(23頁)
賛美歌	357	
説教	「 耕し、守るため 」	八木浩史牧師
祈 祷		
賛美歌	425	

《感謝の応答》

信仰告白	使徒信条	
献 金		
祈 祷		献金当番
主の祈り	(週報表紙、ホームページ掲載)	

《派 遣》

頌	栄	25
祝	福	
報	告	
後	奏	

礼拝当番:	(役員:	)	献金当番:
音響:			映像:

「耕し、守るため」

教会暦は「聖霊降臨節」が終わり、「降誕前節」(10/26～12/24)に入りました。その後半(11/30～12/24)はアドベントですが、その前半(10/26～11/29)では、旧約聖書から、神による創造と救済の意志について見つめていきます。聖霊に導かれつつ歩むうちに、キリストが世においでになり、「終わりの日」がもたらされ、新しい世界が創造され、神の国が完成します。そして主は被造物を救い、祝福してください。教会暦でも、キリストが来られるのを待ちつつ、世界が創造され、救いと祝福に向かって行く様子を見つめるのです。

『創世記』では、神に創造された人(アダム)が、エデンの園に住まわせられ、そこを耕し、守るという使命が与えられました。神と共に歩む信頼関係において、神から任せられた仕事をするのは、人にとって大きな喜びであったことでしょう。神はあらゆる生き物も創造され、人にお任せになりました。さらに神は人にふさわしい助け手として、女を創造され、二人は一体となって愛し合い、助け合って神に仕える幸いな生活を送っていたのです。

『ヨハネの黙示録』では、ヨハネが「終わりの日」には地上にももたらされる「天上の礼拝」の様子を見させられます。神と小羊なるキリストを中心にして、虹が輝き、稲妻、雷鳴、海のようなものがあり、二十四人の長老たち、獅子のような生き物、雄牛のような生き物、人間のような生き物、鷲のような生き物がいました。彼らは皆一つになり、玉座の神と小羊を礼拝し、万物を創造された御業を賛美するのです。